

高江中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分		
H17	1	峰山	高江町農業振興への指導と支援	耕地課	受益者の経費負担等の理解と地域の同意が得られれば、経営体育成基盤整備事業等の導入を検討したい。事業の内容・採択要件は、農業公社へ	具体的な検討は未着手である	H19より、農地・水・環境保全向上対策支援事業を導入し、農業環境保全及び農業振興を支援している。	川内地域に総合整備事業の導入を今後検討したい。	川内地域に総合整備事業の導入を今後検討したい。	川内地域に総合整備事業の導入のため要望調査を実施した。次年度は、さらに各地域ごとに協議することになる。		○	○						
H17	1	峰山	水稲従事期間以外の6ヶ月間の有効な活用策	農政課	樋脇の倉野地区では、水稲従事期間以外に大豆を栽培し、味噌醤油をつくり、地元で販売している。地区でも知恵を出し合っていたきたい	現在、地元からの提案等は特にないところであるが、今後地元と協議しながら、農地の有効活用について検討していきたい	現在、地元からの提案等は特にないところであるが、今後地元と協議しながら、農地の有効活用について検討していきたい	作物の選定については、市技連会で引き続き検討いたします。また、平成21年度より実施する地域特性のある新品目導入交付金の周知を図り、地域提案による新品目の取組支援を行って行きたい。	市全体の田の利用については、継続して検討しているが、現在の農産物の販売環境は非常に厳しいことより、販売対策を考慮して、「薩摩川内市地域特性のある新品目導入交付金」、「薩摩川内市耕作放棄地解消試験栽培交付金」の活用を図って欲しい。				○						
H17	2	峰山	高江インター周辺500戸の定住推進	企画政策課	新たな宅地造成は行わず、保有している未造成地及び分譲宅地の売却に努める	・定住促進については、基本的にソフト事業の展開を行っている ・家屋紹介等は地区コミと連携して進めている	・定住促進については、補助制度により充実しているところである。 ・余暇交流体験モデル事業等を通じて、地区コミと連携して、移住のPR・空家の紹介等を実施している。											○	
H17	3	峰山	八間川「水辺の楽校プロジェクト」の整備促進	建設整備課	江之口橋の補修、東屋等の上物は、市で整備する。「水辺の楽校」推進協議会において作成された計画を基に、最終整備計画を作成したい	平成18年度で実施設計を実施し、平成19年度でポンプ発電機室等の移設を実施予定	ポンプ施設発電機室の移設及び防護策・植栽等景観整備を行なった。	平成20年度も公園整備を実施した。江之口橋の橋面整備は、検討中					○					○	
H17	3	峰山	八間川「水辺の楽校プロジェクト」の整備促進	文化課	先人たちが築き、守ってきたこの「江之口橋」を将来に向けた保存整備として、関係機関と協力し、実施していきたい	建設整備課で実施するが、それに対して文化課は共同して行う	建設整備課で実施中	建設整備課で実施中	整備を終了した。									○	
H17	4	峰山	「林間・野外活動ゾーン」の柳山周辺の振興	観光課	柳山周辺はドライブコースとしても適している。長崎堤防や江ノ口橋、カラフトンなどの観光資源と連携し、柳山を活用・PRする必要もある	観光情報誌への掲載を行なった	H17年度末と同じ	観光情報誌等への掲載を継続中										○	
H17	4	峰山	「林間・野外活動ゾーン」の柳山周辺の振興	環境課	風力発電は、民間事業者が風況調査をしている。本市も民間事業者での事業化を希望し、当調査への協力など必要な支援をしていきたい	平成19年度においては、地域枠が新たに設けられておりますが、民間事業者の応募の抽選結果を待っているところです	平成19年度地域枠に民間事業者が入ったが、諸事情により取り下げ、平成20年度枠に改めて応募の予定である。今後、出来る範囲内において、調査等への協力、支援を行って行きたい。	平成20年度地域枠に民間事業者が申込みをされ、抽選により決定がされれば、できる限りの範囲内において、調査等への協力を行って行きたい。										○	
H17	5-①	峰山	南九州西回り自動車道の建設に伴う道路整備の促進① 南九州西回り自動車道(川内川架橋、高江インター設置)の建設促進	建設政策課	南九州西回り自動車道は川内川に架かる橋梁部分を優先し整備するよう国・県にお願いしている	平成17年12月の都市計画決定以降、川内IC～高江IC区間においては、測量立ち入り説明会、設計説明会を経て、用地説明会まで終了し、現在、本年度内の一部着工を目指して国・県・市一体となって用地協議、取得を進めている	南九州西回り自動車道川内限之城道路については、H20.3.15の着工式を皮切りとして高江地区から工事に着手し、現在高江、小倉地区で整備を進めているところである。				○	○						○	
H17	5-②	峰山	② 県道43号線(川内串木野線)の拡幅・直線化・歩道設置の整備促進	建設政策課	県道43号線主要地方道川内串木野線は、市街地から高江IC予定地までは測量等が実施される予定で長崎堤防までの区間は、色んなルート案が検討され、コスト面や排水対策等を考慮し、現道に沿った整備を行う計画と聞いている	倉浦地区で局部改良工事が実施されており、向田地区から高江IC区間は、南九州自動車道川内限之城道路とともに平成17年12月に都市計画決定し、平成17・18年度においては宮里地区で測量調査、用地取得が実施されているが、同路線は、高江ICと市街地を連絡するアクセス機能を有する道路として、地域住民の安全性の確保や交通緩和を図るうえからも早急な対策が必要であるため、今後も引き続き県へ整備促進の要望を行う	本路線においては宮里地区、倉浦地区の2地区で事業が進められており、高江地区における事業着手は厳しいとのことであるが、歩道設置要望箇所についてはH20.6に地元協力をいただきながら暫定歩道を設置したところである。	H19年度分回答のとおり	本路線においては、宮里地区1工区(L=700m)の整備が進められており、倉浦地区(L=700m)については、本年10月に供用した。	高江IC付近の歩道設置についてはH22測量設計を実施。H23で用地交渉を行う予定。	○								
H17	5-③	峰山	③ 市道の整備促進(永江線)	建設維持課	高江・永江線は、県道川内・串木野線からの起点部は維持工事により施工済み。それ以降の田んぼ内は未舗装であり、年次的に維持工事に対応	年次的に維持工事に対応することとしていたが、当地区内で優先して行う箇所(高江寄田線)があり、実施しなかった。今後、年次的に維持工事に対応したい	実施した。	20年度は事情により実施できなかったが、21年度で実施予定である。	21年度は一部区間で舗装工事を実施した。今後とも継続的に実施して参りたい。	22年度は一部区間で舗装工事を実施した。今後とも継続的に実施して参りたい。				○	○			○	
H17	5-③	峰山	③ 市道の整備促進(田中3号線、寄田線郷鳴・瀬戸地、峯元線、宮下線、循環線、石田線、円僧線など)	建設整備課	高江・田中3号線は、本年度に用地を取得し、H18年度から工事に着手する予定。高江・寄田線は、峰山地区コミュニティセンターから約735mの整備を終えた。郷鳴・瀬戸地方面の整備を予定し、本年度中に測量設計を行い、来年度以降整備に入りたい。上高江・峯元線は、本年度に測量設計を行う。上高江・宮下線、高江循環線、高江・石田線、高江・圓僧線は、地区要望の路線を一度	・高江・田中3号線については、平成18年度完了 ・高江・寄田線については、平成17年度(繰越)に一部測量設計を実施、平成19年度から用地補償及び工事に着手 ・上高江・峯元線は平成17年度に測量設計を実施 ・他の路線については、整備順位の整理をお願いしたい	田中3号線は、完了。高江・寄田線は、継続中。上高江線は、20年度完了。その他は、整備中路線の進捗を見ながら計画的に実施する。	高江・寄田線は、継続整備平成22年度まで	・要望路線 7線の内(高江・田中3号線、上高江・峯元線の2線は完結。)(高江・寄田線は実施中、H22完結予定。)	・高江・寄田線完結(要望路線7線中3線完結)				○	○	○			
H17	5-③	峰山	郷鳴・瀬戸地の整備は、残りが1kmくらいだが、残り全てを今年度中に測量するの	建設整備課	本年度中に測量設計するのは約500mと考えており、来年度以降随時測量整備となる	平成17年度の測量設計をL=600m実施	平成20年度測量完結。	同左	・高江・寄田線(H22年度にて完結予定)	・完結(高江・寄田線)			○	○				○	
H17	5-④	峰山	④ 広湯農道、里道や用水路の整備促進	耕地課	農道単体の整備採択は非常に厳しく、基盤整備事業等により農道・水路等を一体的に整備することで事業推進を図りたい	具体的な事業化については未定	H17年度末と同じ	川内地域では農道・用水路等の整備事業が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。	川内地域では農道・用水路等の整備事業が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。	川内地域に総合整備事業の導入のため要望調査を実施した。次年度は、さらに各地域ごとに協議することになる。									
H17	5-④	峰山	土地改良区が担当のところは整備されているが、市が担当のところは未舗装の状態	耕地課	基盤整備に同意がもらえない場合は、市道の整備と並行し、地区の要望順位も考えやっていく	農道の舗装については、原材料支給で支援している。危険箇所及び通学路として利用される箇所を優先	H17年度末と同じ	生活支援臨時交付金事業により、農道堀川線を平成20年度繰越工事により実施中。他の農道については、原材料支給により支援している。川内地域では農道・用水路等の整備事業が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。	生活支援臨時交付金事業により、農道堀川線を平成20年度繰越工事により実施中。他の農道については、原材料支給により支援している。川内地域では農道・用水路等の整備事業が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。	今年度は、地区調整により市単独舗装工事は未実施。しかしながら、原材料支給や農地・環境保全により支援している。川内地域では農道・用水路等の整備事業が多く、総合整備事業の導入に向け協議していききたい。									
H17	6	峰山	峰山小学校下の高江青年会館の跡地に高江町「ふるさとふれあい館」(仮称)の建設の要望	コミュニティ課	本市の財政状況は大変厳しく、新たな公共施設の整備は難しい。積極的なソフト事業による活動を広げて地域の活性化に努めていただきたい	「ふるさとふれあい館」(仮称)の建設は依然難しいが、平成19年度に地区コミュニティセンターの既存施設を増築して、地区の拠点施設である地区コミュニティセンターの機能充実と利用者の利便性を図っていき	H19年度に和室を増築済みである。												○
H17	6	峰山	高齢化が進み、階段の上り下りが負担。必要があればつくるのか、それとも今後一切つくるのか	コミュニティ課	一切つくる、というわけではない。ソフト面の活性化に取り組んでいただければ、その努力には応えなければならないと思う	同上	H19年度に和室を増築済みである。												○
H17	7	峰山	薩摩型和船(木造船)の貴重な伝統製造技術の継承と和船の保存	文化課	川内歴史資料館では、船図をもと模型を製作し展示した。また船大工の橋口昌一氏に依頼し、「薩摩型の和船」を含む10隻の模型を年次的に製作し、資料として所蔵している。製作過程の記録を撮るとともに、製作資料の収集にも努めており、これからも展示・研究資料として活用する方針	平成18年度に「薩摩型船」を建造した	峰山地区コミュニティセンターで展示中。H20歴史資料館へ移設予定	峰山地区コミュニティセンターで展示中。H20歴史資料館へ移設	H20年度に川内歴史資料館へ移設した。				○					○	
H17	7	峰山	榑木家の屋敷を無償で譲っていただき、移設するという支援はどうか	文化課	現場を確認したい	家屋を確認したが、移設して保存・管理するより、地元で利活用した方がよいと考える	移設等は検討していない。地元で管理・利活用した方がよい。	移設等は検討していない。地元で管理・利活用した方がよい。	移設等は検討していない。地元で管理・利活用した方がよい。	移設等は検討していない。地元で管理・利活用した方がよい。									

高江中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分	
H17	8	滄浪	ハマボウ自生地の公園化計画 現状と将来の展望	文化課	ハマボウの樹勢が弱まっているとの専門家の指摘がある。ハマボウ自生地を将来に向けて保護するため地元と協議しなければならない	建設整備課で実施するが、それに対して文化課は協力する	建設整備課で実施中。	建設整備課で実施中。	建設整備課で実施中。	建設整備課で実施中。					○	○		
H17	8	滄浪	ハマボウ自生地の公園化計画 将来の展望 ①トイレ・駐車場・休憩所とハマボウ自生地に続く花いっぱい遊歩道の整備	建設整備課	早い時期に、基本的な整備計画を作成したい。 トイレ・駐車場・休憩所等は必要不可欠であり、計画段階で検討する。ハマボウ及びカノコユリ等を植生し、花園も整備したい	平成18年度で久見崎公園の実施設計をし、平成19年度で工事着工予定	平成19年度より整備中。	継続実施中。平成21年度も東家等設置の予定。	植栽及び園路舗装を整備。平成22年度も継続して景観施設等整備予定。	・実施中			○	○	○	○		
H17	8-②	滄浪	②県有地とハマボウ公園を結ぶ連絡橋の設置	建設整備課	県道が公園予定地を通過しており大型車等の交通も多い。これを考慮し、一体的利用が出来るよう計画を検討したい	検討の結果、横断歩道で対応	計画していない。	同左	同左	・同左							○	
H17	8	滄浪	③公園内に建設する物産館の運営は地区のみでは無理なので、テナント方式か、博多のラーメン屋台的な方式での運営	観光課	物産館の客層の見込みや販売する品目、地元の物販への関わり方により、施設の性格や規模、内容も変わってくる。地元とも協議したい	物産館の建設の是非並びに運営等について、今後幅広く地元と協議していきたい	H17年度末と同じ	平成17年度末と同じ	平成17年度末と同じ	平成17年度末と同じ								
H17	8	滄浪	原電を見に行く人が、年間7万人いると聞いている。今は素通りされているので、立ち寄ってもらわなければならない	観光課	物産館の運営は地区や民営では無理。作ってどうするのか、ということになる	同上	H17年度末と同じ	平成17年度末と同じ	平成17年度末と同じ	平成17年度末と同じ								
H17	9	滄浪	海の見える場所への「想夫恋」の踊り場の整備	文化課	「海の見える場所」に記念碑の移設及び踊り場の確保については、候補地もきめ今後、保存会と協議検討していきたい	「海の見える場所」として、候補地を選定したが、記念碑の移設もあり、実施については、さらに地元とつめていきたい	H20年度移設実施予定。	H20年度移設実施	H20年度に移設した。				○				○	
H17	10	滄浪	滄浪小学校への給食車の搬入路の整備	建設整備課	この道路は里道であり、拡幅改良を行うには市道認定が必要。その他、用地取得や立木補償等が必要となるため、関係地権者の同意をお願いしたい	平成18年度に市道認定、測量設計、工事発注を実施し、19年度に完了予定	平成19年度で完了。											○
H17	11	滄浪	加治屋地区、小田地区への消火栓の設置	消防局	久見崎地域の消火栓は相当強い圧力といえる。十分とは言わないまでも設備は整っており、消防団と連携をとり消防・防災体制を強化したい	当初回答のとおりであり、現在消防団との連携を密にとりながら消防・防災体制の強化を図っている	当初回答のとおり、今後も消防団との連携を密にとりながら消防・防災体制の強化を図っていく。											○
H17	12-①	滄浪	地区内の道路等の整備について ① 小田地区（不動堂前～中山宅～森満宅～間）の道路拡張	建設整備課	里道であるため、まずは市道認定が必要。①～⑤は整備順位を整理して建設整備課との協議をしていただきたい	整備順位の整理をお願いしたい	平成20年度測量と市道認定	平成21年度から本格工事着手	・整備中（平成22年度完結予定）	・完結（前田・小田線）			○	○	○		○	
H17	12-②	滄浪	② 小田地区の福沢、西村、井龍宅の3軒の排水溝の整備	耕地課	農道の水路整備という方向で検討したい	H18年度に一部実施。H19年度実施で完了予定	H19で完了											○
H17	12-③	滄浪	③ 久保地区（安藤宅～前田宅～愛甲宅～米沢宅間）の道路拡張	建設整備課	里道であるため、まずは市道認定が必要	整備順位の整理をお願いしたい	小田線完了後検討	同左	・未着手	・未着手								
H17	12-④	滄浪	④ 久保地区（阿弥陀仏～旧郵便局～空家2軒～中村旧宅間）の道路拡張	建設整備課	県道 川内・串木野線と市道 久見崎循環線とを結ぶ市道 久見崎・前田線である。全線360mの内、平成15年度に滄浪小学校付近の拡幅改良を実施した。要望の区間はその先の区間であり、延長が約100m、現況幅員が2.0から2.6mである	整備順位の整理をお願いしたい	小田線完了後検討	同左	・未着手	・未着手								
H17	12-⑤	滄浪	⑤ 砂岳地区（砂嶽宅～渋谷宅間）の市道拡張	建設整備課	里道であるため、まずは市道認定が必要	整備順位の整理をお願いしたい	小田線完了後検討	同左	・未着手	・未着手								
H17	13-①	奇田	次の区間の道路が狭く緊急時の救急車・消防車が入れない (①～③) ① 奇田・上野線	建設整備課	奇田小学校裏から市道高江・奇田線との交差点まで延長約600m、幅員5mの整備を計画	平成17年度から年次的に実施中、平成20年度完了予定	平成20年度で計画区間完了						○					○
H17	13-②	奇田	② 瀬戸野・池ノ段線	建設整備課	側溝に蓋をすることで幅員を確保する方法や、途中に待避所を設けること等を検討したい	維持的補修で年次的に実施中	維持工事対応	同左	同左	・同左								
H17	13-③	奇田	③ 土川・港線	建設整備課	昨年度に起点部分を工事した。高さが高いため、盛土が途中までで止まっているが、本年度はこの区間、延長70mの整備を終わらせたい	平成17年度に回答部分には完了、平成19年度は港までのL=170mについて測量設計予定	平成19年度測量設計。20年度工事						○					○
H17	14	奇田	河川の清掃について、愛護週間等に際して清掃したが、人が入っていくには危険な場所もあり、行政での清掃支援をお願いしたい	建設維持課	実施できなかった箇所は要望があれば調査し、河川管理上必要な箇所及び危険な箇所を、県管理は県に要望し、市管理は市で作業を実施したい	市の管理河川については、要望による支援要請があったら、対応いたします。県管理の河川については、要望を受け、実施していただくよう県に申し上げます	支援の要望を受け実施している。	支援の要望を受け実施している。今後についても必要に応じて支援していきたい。					○					○
H17	その他	峰山	峰山地区コミュニティセンターの学習を1階の図書室兼会議室でやっている。この部屋にクーラーを設置していただきたい	コミュニティ課	予算の残がないが確認して、御期待に沿えるようにしたい	今後も、御期待に沿えるように努力したい	予算措置が出来るように努力したい。	平成21年度にクーラーを設置する予定である。	平成21年度にクーラーを設置した。					○				○
H17	その他	奇田	アスベストについて、学校の施設、コミュニティセンターの調査の結果を教えてください	環境課	学校関係は、10校の11箇所の疑わしいものを分析に送った。峰山地区コミュニティセンターは空気中に飛散する恐れがあり、再度調査をする	峰山・滄浪・奇田地区コミュニティ内の学校を含む施設の測定結果については問題はありませんでした。建材等に含有が確認された他の施設においても対処済みであるので、使用に支障はありません	平成17年度調査においては、峰山・滄浪・奇田地区コミュニティ内の学校を含む施設の測定結果については問題はありませんでした。建材等に含有が確認された他の施設においても対処済みであるので、使用に支障はないとしておりますが、平成20年2月に当時対象としていなかった3物質についても、調査、分析を徹底するよう厚生労働省より通達があったため、平成20年度以降において、調査、分析等の対応をする必要があります。	平成17年度調査においては、峰山・滄浪・奇田地区コミュニティ内の学校を含む施設の測定結果については問題はありませんでした。建材等に含有が確認された他の施設においても対処済みであるので、使用に支障はないとしておりますが、平成20年2月に当時対象としていなかった3物質についても、調査、分析を徹底するよう厚生労働省より通達があったため、今後、詳細な調査、分析等の対応をする必要があります。										○
H17	その他	滄浪	現在の久見崎のランドゴルフ場は一部個人の所有者であり、売られる可能性もあるので新しいものを整備していただきたい	建設整備課	ハマボウ公園として確保している土地のうち、ランドゴルフ場にそれだけ取れるか調査した上で検討したい	予定区域の一部を今年度工事着手する予定である	平成18年度測量設計を実施。平成19年度より工事に着手した。20年度も実施予定。	予定区域の一部を今年度工事着手する予定である	予定区域の一部を今年度工事着手する予定である	・完結		○	○	○				○
H17	その他	峰山	ある生徒がいじめにあったが、保護者会での先生の説明と生徒の説明とに食い違いがあり、不満を感じた。資質の向上を要望する	学校教育課	学校内で解決するのが一番だが、解決できなければ、教育委員会、あるいは行政で解決しなければならぬ。この問題は、時間をいただきたい	いじめ問題への迅速かつ適切な対応については、管理職研修会や生徒指導主任等研修会を通じて指導を重ねている。また、本件については、いじめの概要や学校の対応策等の説明により、17年度中に理解を得られたものと考えている												○

高江中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分	
H19	1-①	峰山	平成20年度の柳山アグリランド事業の畜産事業への展開について、施設整備も含めて、市・県・国の支援・指導をお願いしたい。	畜産課	地域・市でできることの棲み分けをして支援。今後も地域主体の取り組みをお願いしたい。市としては公募型の補助金、単独予算の活用を図りながら、サツマイモの栽培・地元のふくれ菓子・かからん団子等の製造・販売、地元の農産物の直売から始め、客を増やした後、次の段階にお互いに考えていければと考える。さしあたり必要な水源の確保、トイレの整備等支援できそうなら支援したい。		峰山地区コミュニティ協議会が展開している柳山アグリランド構想に関し、柳山アグリランドにおける水源確保のための水源調査(電気探査)を実施した。平成20年度は、水源調査(電気探査)結果に基づくボーリングを市単独事業で実施する予定である。	峰山地区コミュニティ協議会が整備を進めている柳山アグリランド内に、ボーリングを行い水源の確保を行った。併せて電気配線工事を行った。				○				○		
H19	1-②	峰山	アクセス道路の整備として、市道の高江・奇田線と瀬戸地・田平線(延長約600m)の早期整備促進。林道の田平線の登り口直線化と離合場所の確保、カーブミラーの設置促進および林道田平線の延長線にある市道高江・奇田線(400m)区間の離合場所の確保促進。林道の田平線と奇田青山広域基幹林道の車両通行支障の樹木伐採と除草の促進をお願いしたい。	林務水産課	林道田平線の登り口の直線化は、用地の確保や国県の補助事業では採択基準を充たさないため市の単独事業となり財政的な面での検討が必要である。仮に施工しても勾配が15～16%になるであろうが、バス等や離合に不便するのではないかと。離合場所の設置及びカーブミラーの設置は、県単事業により、平成20、21年度の2ヶ年で整備できるよう要望している。支障樹木伐採・除草については、現場を見て早期に伐採・除草していきたい。		・田平線の登り口の直線化は難しい状況にある。 ・林道田平線及び奇田青山線の離合場所の確保については、20年度に離合場所を確保し砕石散布を行った。 ・林道田平線及び奇田青山線の樹木伐採及び除草については、19・20年度に樹木伐採及び除草とも実施した。 ・カーブミラーの設置については、20年度より年1箇所程度ずつ実施していきたい。									○		
H19	1-②	峰山	市道高江・奇田線、瀬戸地・田平線は、年次の整備を計画している。田平林道の先にある市道部分は、予算を確保し離合箇所等を整備したい。	建設整備課	市道高江・奇田線、瀬戸地・田平線は、年次の整備を計画している。田平林道の先にある市道部分は、予算を確保し離合箇所等を整備したい。		現在高江・奇田線として整備中。	平成20年度400m実施、平成21年度以降も年次的に実施	・整備中(平成22年度完結予定)	・完結(高江・奇田線)			○	○	○		○	
H19	2-①	峰山	県道43号線の宮里浄化センターから高江インター間の都市計画決定区間の測量設計の促進と、特に県道猫岳峠の歩道設置は通学路であり先行して整備。県道高江インターから久見崎町間までの測量設計促進と直線化・拡幅・歩道設置・交通の見通しの悪い仮屋橋の欄干取替えなどの整備を促進して頂きたい。	建設政策課	要望区間は早急な整備が必要であると十分認識しており引き続き県に対し要望する。欄干の取替えは県は難しいとのことだが、交通安全の観点から別の交通安全策が取れないか検討したい。		本路線においては宮里地区、倉浦地区の2地区で事業が進められており、高江地区における事業着手は厳しいとのことであるが、歩道設置要望箇所についてはH20.6に地元協力をいただきながら暫定歩道を設置したところである。なお、仮屋橋については視距改善のためロードミラーを設置したところである。・・・H19秋ごろ市建設維持課にて対応	H21年度取組みとして ①宮里地区・・・工事着手予定 ②高江C付近・・・予備設計予定 ③仮屋橋付近・・・暫定歩道設置予定	高江IC付近については、H22年度測量設計予定。 仮屋橋付近については、暫定歩道設置の整備を行った。	高江IC付近の歩道設置についてはH22測量設計を実施。H23で用地交渉を行う予定。								
H19	2-②	峰山	「食・農・住」接近の定住促進500戸のために高江インター周辺の農業振興地域10haの指定解除の促進	農政課	指定解除は、基本的には農業振興の面から困難が予想されるが来年度予定している「農振整備計画」で検討し国・県と協議したい。定住促進500戸は、具体的な計画が出たら、農用地除外要件を随時検討したい。		農振農用地の現況調査を実施したところであり、この結果等をらまえ、地元住民との意見交換により意見要望等を把握して、県と協議したい。	農業振興地域10haは、全体見直しにより除外手続きを進めております。	農業振興地域10haは「農振整備計画」の全体見直しで除外しました。								○	
H19	2-②	峰山	普通公園猫岳登山口への市道高江・圓僧線や農道、里道の整備を促進して頂きたい。	耕地課	農道整備は、県単事業等による農道整備だけの事業採択は非常に厳しく、受益者負担を伴う場合整備事業等で農道・水路等を一体的に整備する方向で検討する必要がある。通学路として利用されている危険な箇所は優先順位を考慮し対応したい。		回答のとおり	川内地域では農道等の整備要望が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。	川内地域では農道等の整備要望が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。	川内地域では農道等の整備要望が多く、総合整備事業の導入を今後検討したい。								
H19	2-②	峰山	普通公園猫岳登山口への市道高江・圓僧線や農道、里道の整備を促進して頂きたい。	建設維持課	地区内の市道は危険性や緊急性を検討し必要な箇所から維持修繕工事を行っている。市道高江・圓僧線も、危険性及び緊急性を判断し、今後、年次的に整備したい。県道から整備できないか考えている。		地区内の市道は危険性や緊急性を検討し必要な箇所から維持修繕工事を行っている。市道高江・圓僧線も、危険性及び緊急性を判断し、今後、年次的に整備したい。県道から整備できないか考えている。					○					○	
H19	2-③	峰山	南九州西回り自動車道高江インター予定地周辺への国または県の「道の駅」「複合商業施設」等の誘致・設置に協力をお願いしたい。	観光課	南九州西回り自動車道川内隈之城道路開通後の高江IC周辺の交通量を見極める必要がある。また、道の駅等の物販施設は市外から人をひきつけるような地域の特産品の有無、採算性、他の既存類似施設との競合性等、全体的な見地から検討する必要がある。		回答概要のとおり	回答概要のとおり	回答概要のとおり	回答概要のとおり								
H19	3	峰山	「水辺の楽校」開校記念行事に間に合うよう、市の全ての整備が完成できるようにお願いしたい。	建設整備課	本年度は排水ポンプ発電機室の移設と転落防止柵を整備する予定だが、年度内の全ての完了は厳しくお待ちいただきたい。		継続実施中。	平成20年度で完了				○					○	
H19	3	峰山	八間川「水辺の楽校」両岸堤防の市道高江循環線の舗装整備をお願いしたい。	建設維持課	危険性、緊急性を判断し通行に支障をきたす箇所から年次的に舗装したい。		危険性、緊急性を判断し通行に支障をきたす箇所から年次的に舗装したい。	一部区間で舗装工事を実施した。今後も、危険性・緊急性を考慮しながら年次的に舗装していきたい。	危険性・緊急性を考慮しながら年次的に整備して参りたい。	現地調査の結果、危険性のある一部分については、補修を実施した。								
H19	3その他	峰山	循環線の整備で旧児玉病院のあった60mについて、10年前から要望しているが実施されていない。	建設維持課	現場を見て検討したい。刺溝の蓋については、どうにかしたい。		工事を実施した。											○
H19	4	峰山	消防高江分団詰所および車庫の建替えについて	消防局	来年度、詰所の改築をする。		平成20年度予算計上済み	20年度事業で完結				○						○
H19	5	滄浪	元の場所一元日山周辺に記念碑を移し「想夫恋」踊り場を設置して頂きたい。	文化課	整備移設にあたり、進入路・駐車場の立地・環境条件等の整地の他、踊り場の管理等課題もあり、再検討の上、総合的に判断し、地元の意向も確認し日山隣接の市有地に移設、踊り場の整備を進めたい。		H20年度移設予定。	H20年度移設実施	H20年度に移設した				○					○
H19	6	滄浪	地区名産のいりご加工工場の裏道を保安林を抜け加治屋の巡回市道につなげバイパスを通していただきたい。	建設整備課	今後、条件の良い補助事業や財源の確保について研究したい。保安林の取り扱いについても整備すると出てくる問題なので研究をしていきたい。		計画されていない。	計画の予定にない	・久見崎周回線(仮称)地権者、保安林(市有林)等の調査。	・測量設計済(延長L=535m、W=5.0m)					○	○		

高江中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分	
H19	7	滄浪	原発避難訓練の『10km圏内』の根拠について	防災安全課	原子力安全委員会が策定した「原子力施設等の防災対策について」(防災指針)の中で、原子力発電所の場合は、発電所を中心として概ね8kmから10kmの範囲を「防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲(E P Z)」としている。広報活動は10kmに限らず市内全域を対象に実施している。万が一の場合でも、発電所から遠くれば避難の余裕があるということ、発電所に近いところを繰り返し、積み重ね訓練している。		回答のとおり	回答のとおり									○	
H19	7	滄浪	全市的に配付する補助金等をもっとこれら3地区に振り分けて発展の原動力にして欲しい。	企画政策課	立地3地区への電源交付金の配分は、今後も地元住民の意見も伺い、発展を見据えた事業、道路や側溝の整備、防災安全対策等要望の高いものを中心に優先的に対応する。		H20当初予算、実施計画において、立地地区内の公園整備、道路改良整備事業に優先的に充当したところである。										○	
H19	8	寄田	県道から上野、池ノ段両自治会に通じる道路整備を要望する。	建設整備課	上野自治会への連絡道路として市道寄田・上野線を整備中であり、土川・港線も平成19年度から測量設計を行い、年次の整備を予定している。池ノ段自治会への連絡道路である市道新田・毎床線は今まで側溝整備を実施しており、幅員を確保しているが、大型車の離合箇所等は用地の承諾など条件が整った部分的な拡幅で対応したい。また、土川方面から県道の峠のところから池ノ段に昇る市道瀬戸野・池ノ段線も、離合箇所の設置や道路脇の枝等の伐採で対応したい。		上野地区は、完了。池ノ段地区は、維持的整備を行なう。	池ノ段地区も維持工事で整備中	・未着手	・未着手				○				
H19	9	寄田	寄田地区にあるグラウンドは、雨天後4日ぐらい水はけが悪く使用出来ないのが改善していただきたく要望する。	建設整備課	いろいろ対策を考えなければならないと思うが、一つの方法として暗渠排水も考えているが、いろいろ検討させていただいて対応したい。		実施されていない。	実施に至っていない。	実施に至っていない。	・未着手								
H19	10	寄田	コミュニティセンターの2階の利用に際し、高齢化をかんがみ、階段の整備とかエレベーター取り付けなどをしていただきたい。	コミュニティ課	市内には、寄田地区のような2階に大会議室があるコミュニティセンターが20箇所ある。地域の高齢者等の状況、会議室の利用頻度、地区の代替施設などの状況を勘案し、予算の許す範囲で施設の改善をする。		寄田地区コミにティセンターについては、平成20年度に予算計上し、工事予定である。	平成20年度に設置した。					○				○	
H19	その他	-	コミュニティセンターに火災現場がどこかという電話が多い。消防か、どちらから火災の現場について一報いただきたい。それと、もし分署に誰もいないとき、火災でも起きたら、誰がそれを教えるのか。市の有線放送もあるのそのいう有線放送でも流してもらえればと思う。	消防局	消防のテレホンサービスというのがあるが、火災時は回線が混雑する。消防団員には、携帯メール配信システムを行っている。消防車は出陣の際に〇〇町付近の火災に出陣中というのを放送しながら走行している。それでも足りないものについては早い時期に全地域に各世帯に受信できるものを予定している。広報手段については、市長と十分協議をしながら対応したい。		薩摩川内市が現在防災行政無線をデジタル化へに向けた整備をおこなっているが、整備が完了した後、状況の中で、消防局から放送が可能であれば、火災発生時の広報についても検討してまいりたい。	防災行政無線のデジタル化を進めているが、屋外拡声器については、平成21年5月末に完成する。また、同時に消防局通信指令室に、予備操作車を配備し、消防局から放送できる(屋外拡声器のみ)ため、6月を目途に火災放送を全的に実施していく。									○	
H19	その他	-	火災については防災行政無線で放送していない。屋外放送局を今年度、基幹部を整備して、その中で、本庁から、支所から、消防局から放送ができるように今年度に整備したいと考えておりますので、そこ辺りは、今後消防局から放送してもらおうか。個別受信機を全世帯に配付する中で自治会から、あるいは地区コミから放送ができるようなかたちで整備していきたいので、今後また検討していきたい。	防災安全課			平成20年度より、防災行政無線デジタル化整備事業を実施します。この事業の中で、消防局内に、放送設備を整備していくこととしており、必要に応じて、火災情報の放送が可能となります。放送すべき火災情報の内容、範囲については、今後消防局において、検討して参ります。	平成20年度より、防災行政無線デジタル化整備事業を実施しています。平成21年度において、消防局内に、放送設備を整備していくこととしており、必要に応じて、火災情報の放送が可能となります。放送すべき火災情報の内容、範囲については、今後消防局において、検討して参ります。	平成21年度において、消防局内に、放送設備の整備が完了し、現在、火災情報を屋外拡声器局で放送しております。また、電話27-1199で火災情報を確認できます。				○	○		○		
H19	その他	-	久見崎川は市の管轄か、県の管轄かは分からないが、土砂がたまって、川に葎が生えている。ところが、雨が降らないときは1mくらいで水が流れているが、あの土砂を何とか取り除いて欲しい。	建設維持課	久見崎川には第一と第二があるが、第一でよろしいでしょうか。現況を見させていただいて、対応する。		久見崎川のこの区間は、県管理の箇所であることから、県に現地調査をしていただいて、緊急性及び危険性並びに今後の財政状況を勘案して検討していただいている。市としても、要望を継続していきます。	久見崎川のこの区間は、県管理の箇所であることから、県に現地調査をしていただいて、緊急性及び危険性並びに今後の財政状況を勘案して検討していただいている。市としても継続して要望して参りたい。	21年度は、県により一部区間の伐採を実施して頂いた。土砂の取り除きについては、引き続き県に要望して参りたい。	引き続き県に要望して参りたい。								
H19	その他	-	くるくるバスの時刻表につきまして、川内発1時の次は、午後3時56分しかありません。午後3時の前に1便増やして欲しい。	商工振興課	バスの件については只今のご意見を持ち帰り、検討し、もし対応できるのであれば対応したい		現在は、運行便数の増便は、困難であるが、現在の便数を工夫し、運行時間を調整して運行する方向で事業所と協議中。将来的には、他路線と併せて見直しを行い、増便できないか協議していく。	運行便数の増便は、現時点では困難であるが、現在の便数で、運行時間等を工夫し、運行できないか事業所と調整中。	運行便数の増便は、現時点では困難であるが、現在の便数内で、地元コミュニティ協議会と協議を行い、一部運行時間等を調整して運行した。								○	
H21				観光課	「道の駅たかえ」(仮称)については、地域を支える生活支援サービス施設として、また地域活性化のための基盤施設として必要性は十分認識したので、今後、その立地可能性について調査検討を行いたいと考えている。この調査検討の中で、地域の将来の自動車交通量、定住人口及び交流人口推計等を基にして、地産品物産館やレストランなど商業施設について採算性があるのかどうか、また道の駅として登録されるための国の基準を満たすことが可能かどうか、或いはどうすれば可能になるかについて明らかにしていきたい。					地産品物産館については、久見崎地区に「久見崎公園(川の駅ハマボウ公園)」を整備する構想があり、施設の内容、利活用の面から競合する面も想定されることから、滄浪地区コミュニティ協議会との十分な調整が必要であり、また、ガソリンスタンド・レストラン・農産加工施設などの複合商業施設については、民間がその地域の購買力や高江インターチェンジ周辺の交通量等を含めた市場調査を行い、採算性を考慮して進出してくるようになるかと考えている。	平成21年度末に同じ							
H21	1	峰山	南九州西回り自動車道高江インター隣接地へ、「道の駅」として「ガソリンスタンド、地産品物産館、レストラン、農産加工施設」など併設の複合商業施設を道路所管箇所の国・県・市三者合同での設置を強く要望いたします。	建設政策課	(仮称)高江インター～(仮称)川内インター間については、平成24年度中の供用目標が示され、現在、鋭意整備が進められているところである。しかしながら、薩摩川内都インター～(仮称)高江インター間の供用はその後になることから、鹿児島方面からの利用を考慮すると、「(仮称)道の駅たかえ」については、その時期が望ましいのではと考えている。また、滄浪地区においては、平成18年度から(仮称)久見崎公園の整備を進めており、市の実施計画では平成24年度の完成を予定しているが、それより早く完成できるよう努めていきたい。この(仮称)久見崎公園の中にも地産品物産館を予定していることから「道の駅たかえ」(仮称)と販売品等競合しないよう検討したい。				回答のとおり		国・県事業実施に関する要望書登載の上、要望した。							

高江中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予定	H20当初	H21当初	H22当初	H23当初	完結分
H21	2	澁浪	子リメン加工場から加治屋自治会深見宅前に通じる道路の開通をお願いしたい。	建設整備課	澁浪地区では、現在は、平成20年度から平成22年度までの予定で、地区南側に位置する市道前田・小田線を整備中である。今回要望の路線については、保安林解除という課題はあるが、平成22年度に関係機関と協議しながら事務手続きを進め、条件が整えば事業着手したいと考えている。				・久見崎周回線（仮称）地権者、保安林（市有林）等の調査。	・H19議題6と同じ					○	○	
H21	3	寄田	地区民の殆どは、原子力発電所が立地の恩恵を感じていないのが実情である。市・県には膨大な税金・交付金・補助金が入っているのに、原子力発電の地元として重点的に地域振興事業を実施すべきではないか。	原子力対策課	市では1・2号機建設当時から、地域の市道・農道や集会所・運動広場のほか、夜間照明施設・消防施設の整備などの電源交付金事業を実施してきた。また、近年では、寄田・上野線、土川・港線などのハード事業の実施など、原子力発電所地元地域として配慮していることをご理解いただきたい。今後においては、今回の意見の趣旨を視野に入れながら、現在作成中の地区振興計画や地元の方々の意見を踏まえ、交付金の効果的・効率的な活用や地域振興・活性化について検討していきたい。				回答と同様	市では1・2号機建設当時から、地域の市道・農道や集会所・運動広場のほか、夜間照明施設・消防施設の整備などの電源交付金事業を実施してきた。また、近年では、市道高江・寄田線を継続して整備するなど、原子力発電所地元地域として配慮していることをご理解いただきたい。今後においても、地区の振興計画や地元の方々の意見を踏まえ、市の総合計画等に基づき、交付金の効果的・効率的な活用や地域振興・活性化について検討していきたい。							